

「静岡に日本の理想郷を創ろう」の合い言葉で、党派を超えて勝ち取った川勝平太知事再選の六月の十六日。そしてその一ヶ月後、猛暑の中で「常に初陣」を旗印に闘った七月二十日の参議院選挙。これらに先立つ「三統一地方選挙」を含む「三つの山」を乗り越えるまでの道のりは、本当に辛く厳しいものでした。

三〇八回の街頭演説を通じ、私が訴え続けたのは二つだけでした。ひとつは「集めた税金を使う側ではなく、生活をしながら税金を払う側の政治の実現」です。これは十三年前の初当選から変わらぬ私の貫いた信念でありました。そしてもうひとつは「アベノミクスの光の陰に埋没しかけている生活者、納税者、消費者、勤労者の声を絶対に国政に届ける」というものでした。それは、支持率が高い政府与党が存在するときこそ、政治は少数の民意に気を配らなくてはならないと信じているからです。まさに「野党の声は国民の声」であります。

平成二十六年(二〇一四)年の新春にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年中は「歩む会」の皆様が絶大なご支援とご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。

再び野党に転じた昨年の正月は「初心不忘」(しよんわするなかれ)を改めて胸に刻んだ再出発でした。半年後に自身の選挙を控える、いわゆる「選挙番」でありながらも県連会長をお引き受けしたのも、自らが率先して地元静岡から仲間と共に再起を図ろうと決意したからに他なりません。

追い風の与党自民党に真つ向勝負を挑みながら、第三勢力の猛追をかわし、「歩む会」をはじめとする多くの皆様のご支援のおかげで四十五万八千九百五十五名の県民の皆様から「三期目の切符」を与えていただきました。そして、今回の当選には党内の候補者の中で得票率全国トップのおまけまで付けていただきました。激闘の選挙戦を戦い抜くことができましたのは、偏に皆様のお力があつたからです。



選挙の結果、衆参のねじれが解消され、我々は完全な野党になりました。そして、迎えた第一八五回臨時国会。私に与えられた職務は参議院民主党の「国会対策委員長」でした。数が減ったとはいえ、五十八名の会派の議員を束ね、六つも存在する他の野党と連携を取りながら巨大与党に對峙するのは、容易なことではありませんでした。同僚議員の叱咤激励を受けながらの五十五日間は一日日が真剣勝負の連続でしたが、達成感よりも疲労感が上回る国

会であつたのが正直な気持ちです。国会開会冒頭の所信表明演説で、安倍総理は「この国会はアベノミクスによる『成長戦略の実行国会』であります！」と自信満々に訴えました。しかし、フタを開けてみれば、その中身は曖昧で「アベノミクスの第三の矢」は具体性に欠けるものであり、国会の主役は「秘密保護法」となっていました。しかも、この「秘密保護法」は総理の所信表明演説の中で、まったく触れられていない代物でした。大臣の答弁が三転三転したり、与党の幹事長の発言が迷走したり、衆院と参院で法律の中身に変化が出たり、数の力に頼って強硬に採決を押し切ってしまったことこそが、いかにこの法案が拙速で国民不在の法律であつたかを物語っています。

しかし、それでも尚、私が野党第一党の国会対策委員長として誓っていることがあります。それは「反対のための反対はしない」「良いものは良い。ならぬものはならぬ」この当たり前の国民感覚を忘れずに職責を全うするということです。

「歩む会」の皆様が産み育ててくださった議員であることに、私自身が誇りと責任を持ち、これからもブレることなく「初心不忘」を噛みしめて、努力精進して参ります。本年もご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

参議院議員 榛葉賀津也

声 FIGHT!

『人間・しんば賀津也』

私がしんばさんの選挙の遊説隊の車両長の話をもつたのは、小、中学校の幼馴染である、現・静岡県議会議員の遠藤洋行からであった。参議院選挙は静岡県全域で猛暑の中の17日間という長期間だったので体力的には辛かった。炎天下の中、選挙カーの窓は開けっ放し。そんな中での選挙活動であった。しんばさんも含めウグイスさんたちも体力勝負というところがあった。猛暑の中スタートした選挙遊説。色々なところから集まってきた遊説隊の面々。この選挙がなければ出会うはずのなかった仲間が17日間苦楽を共にした。初日は張り詰めていた気持ちの中で、しんばさんだけではなく全員がピリピリした感じもあった。しかし一番みんなに気を使っていたのは、しんばさん自身だった。その役をやらなければならない私に対しても、休憩の度に冗談を交えて気持ちを楽にさせてくれた。精神的にも体力的にも一番きつかったのはもちろんしんばさんであったと思う。ウグイスさんたちの中には経験が少ない方もいた。遊説のマイクを通した言葉の言い回し方等にも、最初は注意する点が多々あったと思う。しかし、数日間共に行動するとしんばさんの言おうとしている事や、考えている事が少しずつ、ウグイスさん達も理解できてきた。しんばさん自身は必ず実行できる事でなければ、街頭演説でも大風呂敷を広げるような事は言わなかった。本人は走り去る遊説カーで話すよりも、信号待ちであればそこで止まって、行き交う車やたった一人の県民に対しても本気で政策を語っていた。遊説が始まる時から、「とにかく街頭演説を中心にしていきたいので、車両長に任せるから、どこでも止められるところがあれば、止まって街頭演説をやらせて欲しい。」と言われていた。体力的にはしんばさん自身、何度も限界に近い状態があつたと思う。しかし文句も言わず、私が停めた場所で一番最初に遊説カーから飛び降りて、たった数分間でも街頭演説を行ったのは候補者本人だった。遊説隊全員にそんな意思が伝わってくるのを感じた。目標とした街頭演説200回を超えた時、休憩中のコンビニの駐車場で遊説隊の誰かが用意した、小さな紙テープで祝い合った。体力的に辛い事など忘れて、みんながどどん一つの目標に対して固まってく気がした。最終的に合計308回の街頭演説を行った。選挙活動というよりも、まるで学生時代の部活動の様な感じだった。そんな気持ちにさせてくれたのは、しんばさんだつたと思う。遊説隊長はしんば賀津也本人だった。先頭に立ってみんなの気持ちを盛り上げてくれた。こんな気持ちで選挙活動に携わる事が出来た事は本当にありがたかった。「政治家」というよりも「人間」としてのしんば賀津也の魅力が一番に感じる事が出来たのは私自身であつたと思う。

しんば賀津也 遊説隊 車両長 松永直樹

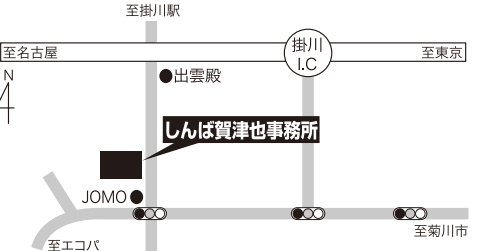
<h3>2014年前半 活動計画</h3>		
<p>国会見学&世界らん展日本大賞2014</p> <p>■出発日 2月18日(火)</p> <p>■会費 10,000円 (交通費、屋食、らん展入場券を含みます)</p> <p>■定員 30名</p> <p>お楽しみ観光 + おみやげ付 えうご期待!</p>	<p>入場無料 第13回</p> <p>国政報告会</p> <p>■日時 3月1日(土) 午後2:00開演 (午後1:00より受付)</p> <p>■会場 菊川文化会館アエル大ホール</p> <p>■講師 民主党幹事長代行 衆議院議員 長妻 昭 先生</p>	<p>2014 政治セミナー</p> <p>■日時 5月25日(日) 午前11:00開演 (午前10:00より受付)</p> <p>■会場 ホテルアソシア静岡 3階「駿府の間」</p> <p>■会費 10,000円</p>

新しいポスターができました!

英字の新しいロゴと、雑誌の表紙のような斬新かつ落ち着いたデザインの新しいポスターが完成しました。A1サイズ(縦84cm×横59cm)で県内各地、屋内屋外を問わず貼ることができますので、ご協力いただける方は、事務所までご連絡をお願いします。

『しんば賀津也と歩む会』会員募集中!

私たちと一緒に榛葉賀津也の政治活動を支援していただける方を募集しています。年会費は2,000円です。詳しくは事務所までお問い合わせください。なお、しんば賀津也ホームページからも申込みいただけます。皆様のご入会を心よりお待ちしております。



SHIMBA Kazuya

しんば賀津也と歩む会

〒436-0022 静岡県掛川市上張862-1 FGKビル TEL 0537-62-3355 FAX 0537-62-3356

E-mail go@k-shimba.com <http://www.k-shimba.com>

発行責任者: 会長 松下知生

『しんば賀津也と歩む会』は榛葉賀津也の後援会です。

活動報告 ~2013年を振り返って~

11/15(金) 天竜支部国会見学



「勝利して今年も旅行を企画しよう。」を合言葉に頑張った7月の参院選も良い結果で終わることができ、実現した恒例の天竜支部日帰り旅行。春野町の方々も初めてのご参加を頂き、支部の結束がさらに強まった。今年は国会見学のあと柴又帝釈天・寅さん記念館へ。「男はつらいよ」の寅さんの世界が広がる記念館で、古き良き日本を感じた。

11/16(土) JA夢咲菊川地区フェスティバル

秋晴れのもと、地元JAフェスティバルに参加した榛葉議員。農産畜産物の豊かな恵みに感謝し、地産地消の大切さと食の安全・安心を守る重要性を訴える。各会場でのフェスティバル、菊川に続き翌週は小笠にも参加させていただいた。

12/11(水) 連合静岡街頭宣伝行動に参加



「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」キャンペーンに参加し、県民に力強く訴えた。

呉服町スクランブル交差点

2/9(土) 2013政治セミナー【ホテルアソシア静岡】

細野豪志衆議院議員をゲストにお迎えし、450名を超える多くの皆様にご参加頂き、盛大に開催する事が出来た。

3/27(水) 岳駿支部国会見学

東京を巡る岳駿支部日帰り旅行。国会では榛葉議員から国政の現状について報告を受け、続いて防衛省の歴史ある市ヶ谷記念館、東京タワーを見学。いつの時代も変わらない観光名所の素晴らしさも感じる事ができた。



4/6(土) 国政報告会【菊川文化会館アエル】

ゲストに渡辺周衆議院議員、初代タイガーマスクの佐山サトル様、元新日本プロレス専務取締役 新聞寿様をお迎えし、1,000名を超える皆様にお越し頂き、熱気に包まれた報告会となった。

7/21(日) 第23回参議院議員通常選挙

458,095票ものご支持を賜り、3期目当選!



共に闘った遊説カー。炎の街頭演説308回達成!

いざ出陣! 17日間の選挙戦スタート

「常に初陣」を胸に3期目へ強い決意

●● 賀津也の部屋 ●●

「与党ボケ」と「野党ボケ」

「大臣! この法案は大臣が与党の時代に仕込んだモノですので、なんとかご配慮をよろしくお願いします!」

皆さんはこの発言の不自然さにお気づきだろうか?

「大臣」には与党でないとなれないのに、「大臣が与党の時代」...というからにはこの議員は野党の人間ということである。実はこれ、官僚たちが野党民主党的議員を取り込んで、政府提出の法律案をできる限りスムーズに成立させようとするときの常套句である。大臣や副大臣、大臣政務官といったいわゆる「政務三役」を経験した野党議員に、政権交代した後も「大臣!」「副大臣!」「政務官!」と声をかけて「貴方は大臣(副大臣・政務官)だったのだから、野党になっても私たちに協力してくれますよね...」

「あまり面倒臭い議論は止めてくださいね...」と暗に囁いて、野党の追及を鈍らせようとする霞ヶ関の高等戦術?なのだ。

立法府である国会は政府の提出するいかなる法律案も様々な角度から慎重な審議をして、その賛否と問題点を明らかにしなくてはならない。たとえそれが、明らかに問題の無い必要不可欠な法律と思える代物であっても、「どこかに問題があるのではないか...」「もっと良い法律にできるのではないか...」と建設的に議論するべきなのである。いかなる法律にもプラスがあればマイナスも必ず存在するからだ。

しかし、政権を譲り渡したばかりの野党民主党的議員の

中には「与党感覚」の抜け切れていない議員がいて、霞ヶ関の官僚との距離感を誤り、なれ合い政治に陥りかねない事態を招くことがある。いわゆる「与党ボケ」というヤツである。

「与党ボケ」がある一方で、深刻な「野党ボケ」も存在している。3年3ヶ月野党を経験し、民主党政権時代に徹底的に政府与党を叩くことに命をかけていた自民党議員の中には、与党になっても野党感覚が抜け切れていない議員が少なくない。

「この法案を成立させる見返りに、民主党から何が取れるんだ!」

「野党の審議時間はなるべく短くしろ!」

「野党が賛成している法案はそう簡単に通すな!」

驚くことにこんな台詞が与党側から飛び出してきた。与党の一番の仕事は政府提出の法律案を1本でも多く通すことだ。にもかかわらず、いつまでも野党感覚が抜けきらず、民主党に対抗心を燃やし、議会の審議妨害をするなどということは愚の骨頂である。これは「ねじれ国会」が続いたために、衆議院より参議院に顕著にみえる傾向であることは残念の一言に尽きる。

かつて自民党の竹下登総裁は、当時の自民党国会対策委員長である渡部恒三氏に

「国会対策の要は7割野党の言うことを聞いて、与党の言うことは3割聞けばいいんだ。これが国会運営の仕組みだ」と語ったと言われる。名言である。

懐が浅い政治は、不毛な混戦を招くだけであり、その被害者は主権者たる国民であることは論を待たない。



国会発

東 奔 西 走

世界のSHIMBA!
日本の榛葉!
静岡のしんば!!



9月~12月 子供たちの国会見学



多くの小学生の皆さんが国会を訪問。国会の役割や仕事を実際に目で見て、参議院にしかない『特別体験プログラム』で模擬体験し、国会についての理解を深めた。

11月~12月 働く仲間の国会見学&意見交換



連合加盟の各組織の皆様が国会を訪問。様々な意見交換や国政報告をさせて頂いた。

- 11/ 8(金) NECアクセステクニカ労働組合
- 11/ 9(土) JR東海ユニオン青年委員会 & JR東海連合青年・女性連絡会
- 11/15(金) ヤマハ発動機労働組合浜松南支部
- 11/22(金) 連合静岡中遠地域協議会
- 12/10(火) 中部電力労働組合名古屋総支部
- 12/13(金) 中部電力労働組合火力総支部
- 12/13(金) 電機連合静岡地方協議会

11/28(木) 野党7会派共同記者会見



民主・みんな・共産・維新・社民・改革・生活の野党7会派で、政府与党の強引な審議に対して、国民目線で徹底審議を行うよう求めることを合意。国会対策委員長として野党共同記者会見に出席し、徹底審議を強く求めた。

12/4(水) 党首討論



衆議院第1委員会室での党首討論に参議院国家基本政策委員会委員として出席。

8/2(金) 初登院



臨時国会が召集され、初心を忘れず3期目の初登院。皆様にお支え頂き、押し上げて頂いたご期待をかみしめ、身を引き締める。

8/7(水) 参議院民主党国会対策委員長就任



参議院民主党国会対策委員長を拝命。国会戦略の責任者として、毎回本会議開会前に党の方針について各議員へ説明を行う。

9/25(水) 参議院議長へ早期開会申し入れ



閉会中の9月25日に野党5党共同で山崎正昭参議院議長・興石東参議院副議長に早期の国会召集要求を提出。喫緊の課題が山積する中で、速やかに国会が召集され、各課題に対し議論を進めるよう求める。

9/27(金) 仙台貨物ターミナル駅視察



東日本大震災発災後の復旧復興において重要な役割を果たした日本貨物鉄道(JR貨物)の仙台貨物ターミナル駅を視察。